

野戦'22 初夏 テント芝居公演

TOKIOネシア荒屋敷予想 鯨のデーモス



野戦之月

2022年6月29日(水)・30日(木)・7月1日(金)・2日(土)・3日(日)

受付開始 18:00 開演 19:00 場所: JR武蔵小金井駅東側高架下

【料金】前売・予約 3,500円 当日 4,000円 障害者・大学生・子供同伴一人親 2,500円 中高生 2,000円 小学生以下無料
【予約・問い合わせ】電話: 090-8048-4548 E-mail: ticket@yasennotsuki.org [チケット取り扱い] 模索舎 電話: 03-3352-3557

2022年6月29日(水)・30日(木)・7月1日(金)・2日(土)・3日(日)

受付開始 | 18:00 開演 | 19:00

場所: JR武蔵小金井駅東側高架下

JR中央線武蔵小金井駅新宿寄り徒歩1分(ニッポンレンタカーとなり)

TOKIOネシア荒屋敷予想 鯨のデモス

作・演出: 桜井大造

舞台監督: おおやまさくに

照明: 2PAC

音効: 茜 羅皓名

映像: 佐藤英里子

舞台: 野戦之月舞台部

舞台美術・宣伝美術: 上岡誠二

衣装: 野戦之月衣装部

舞台協力: 李夢秋 胡議航 武内理恵 飯塚敦久

制作: 野戦之月制作部 押切珠喜

音楽:

野戦之月楽団/ 大熊ワタル 桜井芳樹

小間慶大 こぐれみわそう 桜井李早 他

原田依幸

協力:

広島アビエルト芝居小組

「山谷」制作上映委員会

明治大学丸川ゼミ

一般社団法人サステナブルデザイン工房

独火星 ブー口舎 台湾海筆子 北京流火

済州島「ムン」テントグループ

後見:

伊井嗣晴 根岸良一 新井輝久

風間竜次 疫蠅以蔵

ばらちづこ

盧佳世

丸川 = 盧 = 哲史

森美音子

渡辺薫

リュウセイオー龍

楊璨鴻

菅原放

押切マヲ

桜井大造

[入場料]

前売・予約 3,500 円

当日 4,000 円

障害者・大学生・子供同伴一人親 2,500 円

中高生 2,000 円 小学生以下無料

※入場の際に階段がございます。

車椅子等の方は事前にご連絡ください。

[予約・問い合わせ]

電話: 090-8048-4548

E-mail: ticket@yasennotsuki.org

[チケット取り扱い]

模索舎 電話: 03-3352-3557

※会場にはトイレがありません。

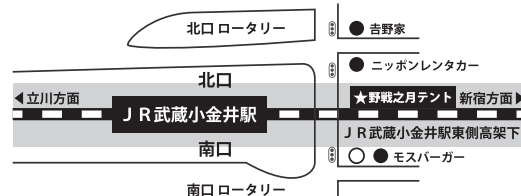
駅前の公衆トイレなどをご利用ください。

※新型コロナ感染拡大の際などは
変更する可能性があります。

※詳細、最新情報は

野戦之月 HP でご確認ください。

<https://yasennotsuki.org/>



1とカウンタされることに慣れてしまった。
1とカウンタされることで自身の存在が認
定、確保されている気になるからであらう
か。とりあえず1の内側にもぐりこんで
あろうか。「人」に1票を「が民主政治の原
則だが、1は存在を表すだけの記号であり
虚空に記された染みに過ぎないのだから、
この原則の内側に入っているべりしてい
る「民主主義」というものでもない。
とここで「数」という言語は、ありとあら
ゆる異質な事物や現象をとりあえず同一な
もの「1」として抽象化する技術を開発さ
せてきた言語である。現働社会のヒトの暮
らしにおいてはこの技術の恩恵に浴しては
いないものはない。いや恩恵だけではない
表裏をなすこの技術による被害を免れう
るヒトもまたほぼいない。なにしろ暮ら
大部分を支えているのがブラックボックス
なのである。不具合に手がでないところ
なのも何かが問題なのかすら知らないこ
ともほとんどだ。現働社会におけるアン
シとイラダチは分別しがたい1つの感覚
ある。TOKIOネシア(東京群島)を宿営
地とする1カウンタのデモスたちにとっ
てもこの感覚はすでに持ちこたえきれない
共通心情となつていく。そしていきおい
の内部は腐食し始める。災厄によってこ
1の「分解」は加速されていく。どこへ向
かって、か。それはヒトの持つもう一つの
言語、「数」とは異なる「言葉」というもの
によってのみ道筋を見つけていくものと思
れる。荒屋敷(阿頼耶識)に蓄積されてい
る多元的な言葉、ヒトに固有なこの糸切り
バサミのごとき最小単位の理性、その集積
と格闘とが煽動、先導するのだ。
――鯨がTOKIOネシアを回遊している。
まるで救援船のように困窮する島々を巡っ
ている。そう夢想、想像することに不都合
はない。百人程度のヒトを飲み込む鯨も、
その本体は分解し続ける1に紛れ込む多元
的な時間によって現出し、作られているも
のだからだ。この初夏に一時集合する私
の「芝居場」も回遊する鯨のような閑達さ
を求めている。

*当地にて同時開催『中央線パフォーマーズフェスティバル』(主催:東日本旅客鉄道株、(株)JR中央線コミュニティデザイン)

※詳細は決まり次第、中央線が好きだ。(<https://chuosuki.jp/>)で告知予定。